

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもの居場所を活用した「YouTubeで地域協働推進」事業
事業主体 (連絡先)	茅野市 (0266-75-1199 CHUKOらんどチノチノ)
事業区分	(1)地域協働の推進 (2)その他地域の元気を生み出す地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	401,520円 (うち支援金: 301,000円)

事業内容

茅野市の子どもの居場所施設「CHUKOらんどチノチノ」を拠点に、中高生が地域のPRのため、動画作りの企画・撮影・編集を大人と協働して行い完成した動画を公開する。

- ・動画作り講座の開催 6月～12月
7名の高校生が参加
- ・子どもたちが自ら考えたテーマに沿って動画の企画を行い、大人の助言と協力のもとに撮影、編集を行った。
- ・完成した動画はYouTubeに投稿するとともに、活動報告チラシを作成し、市内の子どもたちに配布した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①高校生7名が事業に参加し、茅野市のPRのためにそれぞれが自分なりの動画テーマを設定し、行動に移すことができた。
- ②動画の撮影のためには、相手方の大人と話し合い、自分の意図を伝える必要があるが、相手方も意図を理解し喜んで撮影に参加してくれた。
- ③「子ども食堂」をテーマにした高校生1名が、撮影に協力してくれた子ども食堂にボランティアで参加するようになり、子どもの社会参加の推進ができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・今回は「動画作り」をテーマに子どもの募集を行ったが、より子どもたちが興味を持ち・継続して参加できる内容を検討する。
- ・活動を継続させるために、CHUKOらんどチノチノを利用する子どもたちに呼びかけ、普段から地域社会のことを考えてもらえるように事業を展開していく。
- ・今後も上記により子どもの夢の達成を後押しし、かつ地域社会に参加できる子どもを増やしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【7/10 第3回講座の様子】

【目標・ねらい】

- ①子どもの社会参画
- ②大人、地域社会との協働の推進
- ③地域を知り、地域を愛し、地域のために行動する子どもの育成

※自己評価【C】

【理由】

- ・昨年より多くの子どもの参加を望んでいたが、新型コロナウイルス感染症のためか参加者が少なかった。
- ・大人や仲間と協働して、動画を完成することができた。